

乙女高原ファンクラブ 2009年度 活動報告(ダイジェスト版) 2009.3. ~ 2010.2.

こんな1年間でした

1. 1年間で21名の入会者があり、現在、総入会者数は593名です。
2. 年間計画に沿った活動を実施し、のべ参加者数は1176人でした(2004年度 811人、2005 1200人、2006 1378人、2007 1344人、2008 1253人)。
3. 第10回遊歩道作りは予定通り実施。故中村市長が丸1日参加してくださいました。
4. 年3回のマルハナバチ調査を行うのは7年目となりました。
5. 牧丘第一小、第二小、第三小、塩山高校、ことぶき勸学院、山梨県総合教育センター等、学校や団体から活動紹介や高原案内・環境教育の依頼がありました。
6. 今年も夏の土日を中心に乙女高原案内人の皆さんが交代で乙女高原の案内をしました。のべ20日間に、のべ79人の案内人が、384人もの方々を案内しました。
7. 8月に「案内人キャンプ」を実施し、20名の参加者がありました。遊歩道作りで使う杭を作ったり、昆虫相調査の一環ライトトラップ調査を見学したり、ミズナラ林のシカの食害を視察したりしました。
8. 第10回目となる草刈りボランティアには251名が参加。これまで多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品をお贈りしました。
9. 第9回乙女高原フォーラムには92名の参加者があり、「シカが乙女高原の自然を変えている!!」をテーマに、山梨県環境科学研究所の吉田 洋さんと山梨県森林総合研究所の長池卓男さんのお話を中心に行いました。
10. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展 を行いました。
11. 山梨市より「乙女高原保護活動事業」補助金をいただきました(7万円)。
12. 石和サティより「幸せの黄色いレシートキャンペーン」として双眼鏡など活動で使う備品をいただきました(24,600円相当)。
13. (株)田丸グリーン基金より5年連続で協力参加費をいただきました(5万円)。
14. (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に応募したところ、当選し、助成金をいただきました。助成対象はシカ柵の購入です(164,640円)。
15. 計10回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を行ったりしました。連絡会議では山梨県・山梨市の担当者も交え、企画を練ったり、実施後の反省を共有したりしました。
16. 乙女高原フィールドガイド 『乙女高原のお花たち』を改訂増刷しました。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
18. メールマガジンを年14回、配信しました。
19. サイト情報をこまめに更新しました。
20. 中型ほ乳類(テン)の糞サンプリング調査を継続しました(4年目)。
21. 【新規事業】月に一度のペースで昆虫相の調査を始めました。
22. 【新規事業】乙女高原に自動温度記録計を設置し、温度の記録を撮り始めました。
23. 遊歩道づくり、草刈りボランティア、フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。

1年間のおもな活動の足跡

3/16 2007年度定期総会



牧丘総合会館を会場に行われました。出席22名。委任状114名で総会成立です。今回は世話人改正の年で、12名が世話人に立候補し、承認されました。その中から互選で3名の代表世話人を決めました。

3/16 第7回座談会



総会後の第7回座談会は話題提供者として乙女高原案内人の原澄さんをお願いし「乙女高原での地中温度の測定で感じたこと」をテーマにお話いただきました。

5/10 第10回遊歩道作り



いい天气に恵まれ実行できました。参加者68名。故中村市長が最後までお付き合い下さいました(写真)。作業後、(株)田丸グリーン基金よりの活動協力費贈呈式が行われました。

6/28 第7期マルハナバチ調べ



参加者20名。ラインセンサス調査で確認できたマルハナバチは1頭のみ。午後からは急きょ自然観察会に変更しました。

7/2 牧丘第二小学校の自然教室支援



小学校の自然教室講師を乙女高原案内人の皆さんが受託。今年度は牧丘第三小(7/17)、牧丘第一小(9/11)と、山梨市牧丘町内の全小学校から乙女高原の案内を依頼されました。

7~8月 案内人自主活動



学校が夏休み中の土日を中心に案内人がボランティアで乙女高原を訪れた人を案内。計20日間にのべ79名の案内人が乙女高原を訪れた384名を案内しました。

8/9 第7期マルハナバチ調べ



参加者20名。マルハナバチ紙芝居から始まるフルバージョンの調べ隊を実施。ラインセンサスで計63頭のマルハナバチを確認しました。

8/22-23 案内人キャンプ



参加案内人20名。遊歩道に使う杭を作ったり、夜の昆虫相調査を見学したり、ミズナラ林のシカ食害を視察したり、もちろん懇親会も・・・と、非常に濃い2日間でした。

9/13 第7期マルハナバチ調べ



参加者4名。ラインセンサスの結果は計37頭でした。

9/21 櫛形山視察



乙女高原で来年度設置予定のシカ柵と同型のシカ柵が設置されている櫛形山を視察しました。10/24にはその設置作業も視察させていただきました。

11/6 美化清掃に参加



山梨市主催「焼山峠周辺秋の観光地美化清掃」にファンクラブから5名が参加。乙女高原周辺の林道を清掃しました。

11/15 キッズボランティア下見



ブナじいさんの根元に落ち葉のふとんをかけるというキッズボランティアの下見兼準備作業を7名で行いました。

11/23 第10回草刈りボランティア



第10回を記念して、今まで多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品を贈りました。参加者251名。

11/23 温度記録計設置(新規)



乙女高原案内人・原さんの提案で、自動的に温度を記録してくれるデータロガーを乙女高原に設置しました。

1/5~31 乙女高原展



今年で5回目となる、山梨市民会館ロビーをお借りした展示。今までの全ての草刈りとフォーラムのちらしやポスターなどを展示しました。

1/31 第9回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。参加者92名。テーマは「シカが乙女高原の自然を変えている」。ゲストは県環境科学研の吉田洋さんと県森林総合研の長池卓男さん。

通年 昆虫相調査(新規)



神奈川県厚木市郷土資料館学外員の槐さんを中心に、月に1回のペースで『乙女高原にはどんな昆虫がいるか?』を調査(写真は、案内人キャンプで槐さんのライトトラップ調査を見学させていただいているところ)。

通年 テンの糞サンプリング



25回実施。遊歩道を歩きながらテンの糞をサンプリング調査し、その結果を応用生態技術研究所に送って解析してもらっている。

乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
- 2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
- 2003.6 イタドリの刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
- 2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.6 山梨県観光物産連盟より感謝状をいただく。
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイド『マルハナバチ』を作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.4 ブログ「乙女高原フィールドノート」開始
- 2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
- 2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイド『お花たち』を改訂増刷
- 2009.6 **新事業**・乙女高原の昆虫相調査スタート
- 2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
- 2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈
- 2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp
ウェブページ <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 0220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ